





自己評価報告書 様式

令和5年度 泰明小学校 自己評価報告書		
学校名：中央区立泰明小学校	所在地：中央区銀座5-1-13	
校長名：荒川 比呂美		
児童数 288名	学級数 12	
教員数 18名	職員数 7名	
1 重点目標の達成状況及び取組状況		
重点目標1 思いやりの心の育成		
評価項目：①規範意識の向上のため、言語環境を整備し、挨拶の励行と登下校の安全や公共マナーを徹底する。		
②児童の自己肯定感や他者意識をもたせるために、支持的風土をつくり、意図的・計画的に活躍の場面を設ける。		
③多様な価値観を受容・尊重できるように、道徳授業の充実を図り、他者と協働して取組む活動や異年齢での交流活動を推進する。		
【教員】		
評価指標 A:十分達成している B:達成している C:改善を要する D:緊急に改善を要する		
目標	思いやりの心の育成	
評価項目	言語環境の整備、規範意識の向上、豊かな人間性と社会性	
重点目標1	相手に応じた正しい言葉遣いや挨拶ができるよにさせましたか。	
	場をわきまえたマナーやルールを徹底し、公共マナーを身に付けさせましたか。	
	自分のよさに気付け、自信をもって活動に取り組ませましたか。	
	学習活動や行事など、互いの思いや考え・立場を認め、協力して取り組ませましたか。	
保護者のアンケート結果（十分達成している・達成している）		
○相手に応じた正しい言葉遣いをしている。 80.9%（17.6%・63.3%）		
○場をわきまえたマナーやルールなど、公共マナーが身に付いている。 84.4%（20.1%・64.3%）		
○自分のよさに気付き、自信をもって活動している。 82.4%（19.6%・62.8%）		
○学習活動や行事など、互いの思いや考え・立場を認め、協力して取り組んでいる。 93.0%（30.7%・62.3%）		
児童アンケート結果（十分達成している・達成している） 4～6年生で実施		
○挨拶は元気よくしていますか。 84.6%（51.7%・32.9%）		
○ルールやマナーを守って、安全に通学していますか。 97.2%（67.8%・29.4%）		
○学校の行事は楽しいですか。 93.7%（62.2%・31.5%）		
教員アンケートについては、昨年度は「児童は～していますか」という問いであったが、今年度は、「～させましたか」という問いに変更した。そのため、保護者や児童の結果から、		

教員が指導を振り返る機会になった。

①については、教員・保護者・児童の肯定的評価は、8割以上であった。しかし、教員からは、自らすすんで挨拶ができる児童が少ないことが課題としてあげられた。改善策として、代表委員会が主体となって、挨拶の励行を促す活動を企画・実施することや挨拶が人とのコミュニケーションとして大切なものであることを、継続して指導していくこととした。また、9割以上の児童が登下校時にルールやマナーを守っていると回答しているが、バスの乗車については、継続的な課題となっている。日常的に児童への指導を行うとともに、教員や保護者がバス停での見守りや一緒に乗車することを継続していく。

②については、教員・保護者の肯定的評価は、8割以上であった。4・5・6年生が4月に行う学習力サポートテストの「i-check」では、全体的に自己肯定感の高い児童が多く、学年が上がるにつれて、高い結果である。児童の良好な行動に対して、様々な教員が賞賛の言葉かけをすることで、自信がもてる児童が増えてきている。

③については、肯定的評価は、教員・保護者ともに9割以上であった。異学年交流の縦割り班清掃や縦割り班集会、地域別児童会、幼稚園との交流等、教育活動の中で様々な人と関わる場면을意図的に設定している効果であると考ええる。

重点目標 2 確かな学力の保障と学習意欲の喚起

評価項目：①基礎・基本の定着のために授業規律の徹底と教材・教具の整備、教育環境の充実を図る。

②学習意欲向上のために、ICTを活用した学習満足度の高い授業づくりや習熟度や課題別に応じた授業展開の工夫を図る。

【教員】

		評価指標 A:十分達成している B:達成している C:改善を要する D:緊急に改善を要する			
目標	確かな学力の保障と学習意欲の喚起				
評価項目	基礎基本の定着、学習意欲の向上、ICTの活用、習熟度・課題別に応じた授業展開				
重点目標2	学習習慣を定着させ、自らすすんで課題に取り組むよさを促しましたか。	5.9%	88.2%	5.9%	
	基礎基本の定着のために授業規律を徹底し、教材教具などの教育環境を整えましたか。	16.7%	83.3%		
	ICTを活用した授業などで、意欲をもって学習に取り組ませましたか。	11.8%	76.5%	11.8%	
	習熟度・課題別に応じた授業展開を工夫し、学習内容を理解させましたか。	17.6%	76.5%	5.9%	

保護者のアンケート結果（十分達成している・達成している）

- 学習習慣が定着し、自らすすんで課題に取り組んでいる。
76.9%（25.1%・51.8%）
- 授業規律を守り、基礎的・基本的な学習内容を理解している。
91.5%（36.2%・55.3%）
- タブレットの活用により、意欲をもって学習に取り組んでいる。
69.8%（24.1%・45.7%）
- 習熟度、課題別に応じた授業により、学習内容が理解できている。
85.5%（30.7%・54.8%）

児童アンケート結果（十分達成している・達成している） 4～6年生で実施

- 授業の内容はよく分かりますか。
95.8%（67.8%・28.0%）
- 学習では、知っていること・分かっていることを使って、すすんで考えましたか。
89.5%（54.5%・35.0%）

①の基礎基本の定着については、教員・保護者ともに9割以上が肯定的な評価をしていた。4年生から6年生が行った区の学習力サポートテストでは、国語・算数は基礎領域の正答率が8割以上であった。しかし、社会・理科については、正答率が8割に届かず、6年生の理科については、正答率が7割以下であった。理科については、知識や技能はあるが、そこから類推したり予想したりすることが苦手な児童もいるため、予想を立てる、結果から考察するなどの時間をしっかりと確保していく。

②の習熟度や課題別に応じた授業については、教員・保護者ともに8割以上が肯定的評価であった。また、児童も約9割の児童が肯定的評価をしている。しかし、ICTを活用した授業についての肯定的評価は、教員が9割弱に対して保護者が7割弱と開きがあるので、タブレットを活用した学習活動をClassroom等を活用して保護者に発信していく。また、教員が日常的にタブレットを活用できるように、定期的にミニ研修会を実施する、ICT支援員を活用して授業支援や具体的な活用事例を紹介してもらうなど、学校全体で推進していく。

重点目標 3 児童の健康づくりの推進

評価項目：①基本的な生活習慣の確立のために、健康講話や保健指導、食育指導を充実する。

②体力向上のために、泰明タイムの継続的な取り組みや学習カードを活用し、マイスクールスポーツ（持久走）の推進を図る。

【教員】

評価指標 A:十分達成している B:達成している C:改善を要する D:緊急に改善を要する

目標	児童の健康づくりの推進	
評価項目	健康教育の推進、運動環境の整備、マイスクールスポーツの推進	
重点目標 3	保健指導や食育指導を通し、基本的な生活習慣を確立させましたか。	5.9% (A) 94.1% (B)
	マイスクールスポーツ(持久走)を通し、目標に向け、継続的に取り組ませましたか。	23.5% (A) 76.5% (B)
	泰明タイムの継続的な取り組みなどで、体力向上を図りましたか。	29.4% (A) 70.6% (B)
	外遊びを奨励し、積極的に運動させたり、体づくりをさせたりしましたか。	29.4% (A) 70.6% (B)

保護者のアンケート結果（十分達成している・達成している）

- 早寝早起きや食生活など基本的な生活習慣が身に付いている。 81.5% (30.2%・51.3%)
- 目標に向け、泰明タイムや持久走など継続的に運動に取り組んでいる。 75.4% (22.6%・52.8%)
- 積極的に外遊びをし、体づくりをしている。 72.9% (30.7%・42.2%)

児童アンケート結果（十分達成している・達成している） 4～6年生で実施

- 健康に気を付けて、運動や正しい食生活をしていますか。 88.1% (55.9%・32.2%)
- 自分の体力づくりに取り組んでいますか。 83.2% (53.8%・29.4%)

①の基本的な生活習慣については、教員・保護者・児童それぞれが8割以上、肯定的評価をしている。特に、学校医による保健講話を月1回程度継続して実施していることから、児童一人一人が心と体の健康について正しい認識を高め、実践につなげていくことができる。

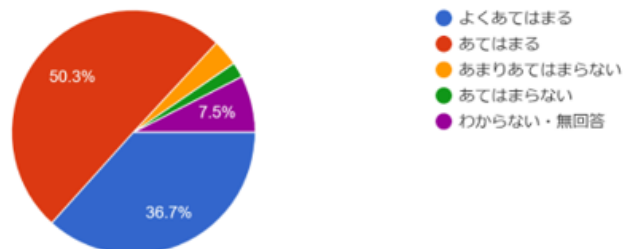
②の泰明タイムや持久走の取り組みについて、保護者の肯定的評価は7割と低いですが、学校としては、年間を通して計画的に継続して取り組むことができた。今年度マイスクールスポーツを縄跳びから持久走に変更し、継続して取り組んだことで、保護者の肯定的評価が昨年度の3割から7割に高まった。「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の20mシャトルランでは、ほとんどの学年が全国や東京都の平均を5ポイント以上上回っている。継続して泰明タイムや持久走に取り組んできた結果として捉えることができると考えられることから、今後も体力向上に向けた取り組みを推進していく。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

【保護者アンケート】

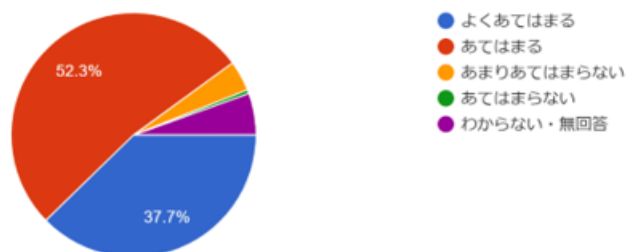
4-1) 学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている。

199 件の回答



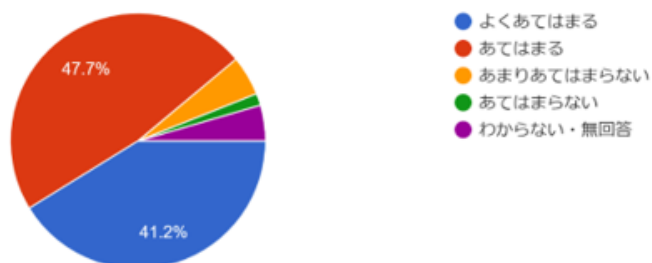
4-2) 学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。

199 件の回答



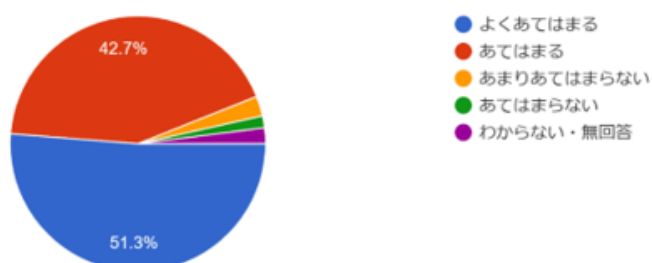
4-3) 学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している。

199 件の回答



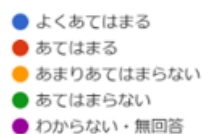
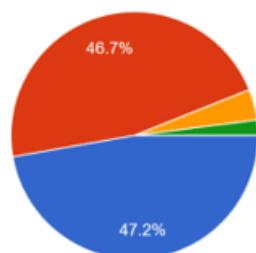
4-4) 学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。

199 件の回答



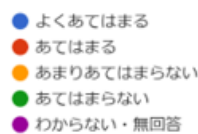
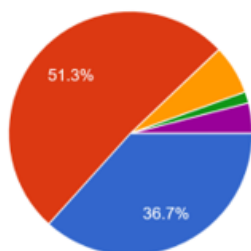
4-5) 児童は明るく生き生きと学校生活を送っている。

199 件の回答



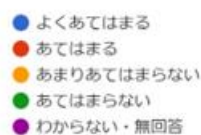
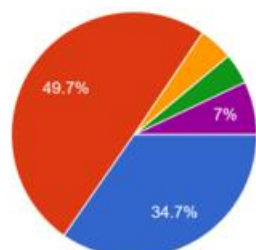
4-6) 学校は児童の健康・体力の増進に努めている。

199 件の回答



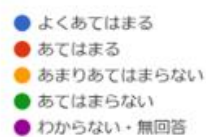
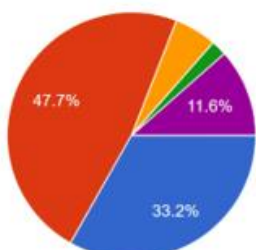
4-7) 学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。

199 件の回答



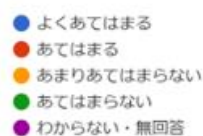
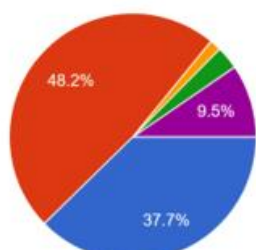
4-8) 学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。

199 件の回答



4-9) 学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で児童の指導にあたっている。

199 件の回答



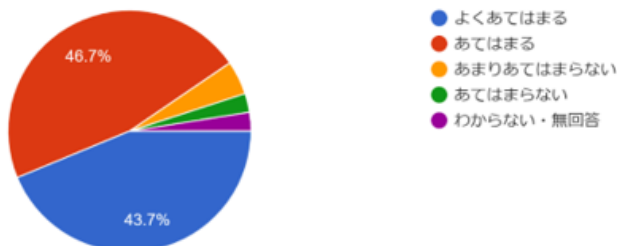
4-10) 学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。

199 件の回答



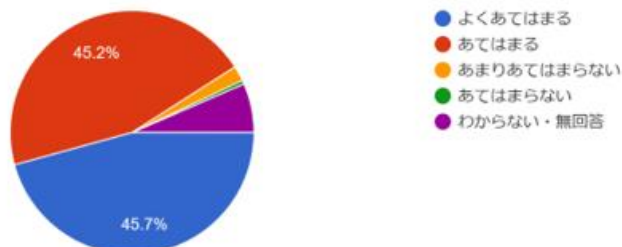
4-11) 学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。

199 件の回答



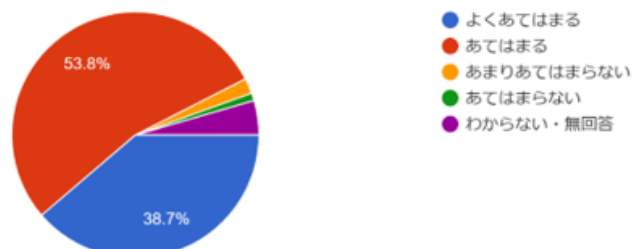
4-12) 学校は保護者や地域の人が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。

199 件の回答



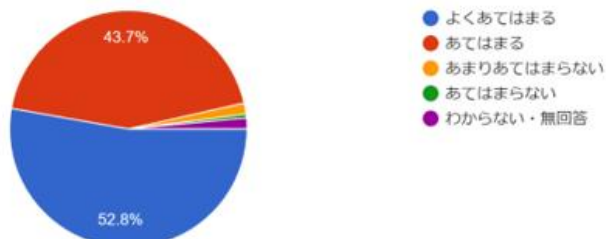
4-13) 学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。

199 件の回答



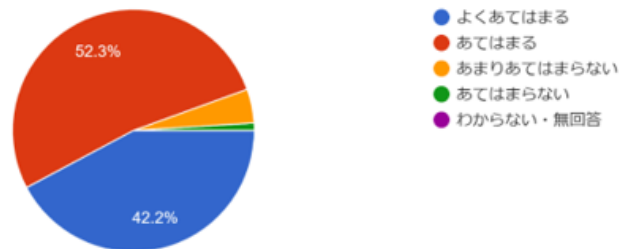
4-14) 学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている。

199 件の回答



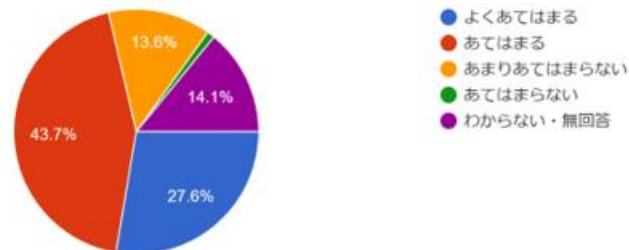
4-15) 学校は保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすくても内容も適切である。

199 件の回答



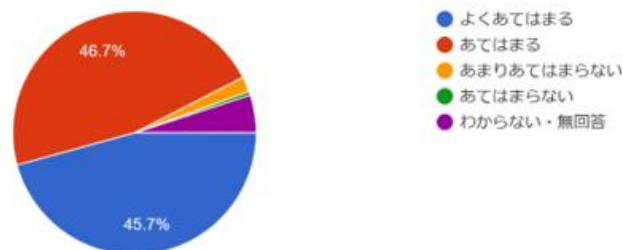
4-16) 学校はタブレットや図書室を十分活用している。

199 件の回答



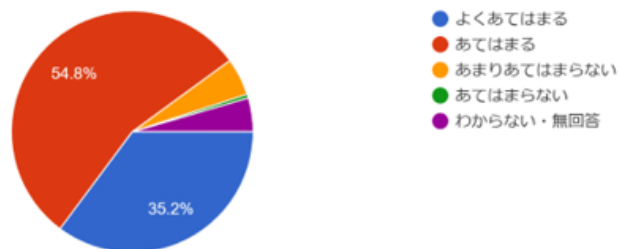
4-17) 学校は地域や外部講師を生かした教育活動や行事を行っている。

199 件の回答



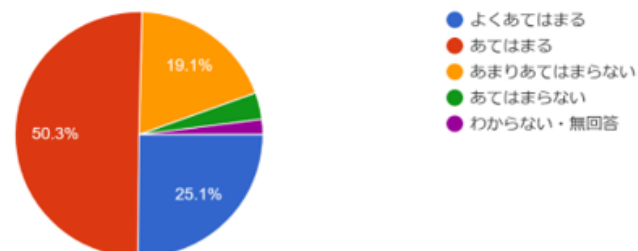
4-18) 保護者は学校の教育活動を理解し、協力している。

199 件の回答



4-19) 児童はマナーを守り、安全な通学を心掛けていると思う。

199 件の回答



ほとんどの項目で肯定的評価が8割以上である。その中で4-16「学校はタブレットや図書室を十分活用している」については、肯定的評価が7割であった。また、この項目は「分からない・無回答」が14.1%と多い。しかし、昨年度の保護者アンケートの結果と比較すると、肯定的評価が4.5ポイント増え、「分からない・無回答」が7.8ポイント減った。その他にも教育活動について問う設問で、「分からない・無回答」の数値が高い項目があったので、今後も Classroom などを活用して様々な教育活動を発信していく。

【児童アンケートより】 4～6年生で実施

○学校に行くのが楽しいですか。

肯定的評価 83.3%

あまり楽しくない 9.8% 楽しくない 7.0%

○先生は、なやみごとについて話しやすいですか。

肯定的評価 60.9%

少し話しにくい 22.4% 話しにくい 16.8%

児童一人一人が「今日の学校生活に充実感をもち、明日の学校生活に希望をもてる学校」を目指している。学ぶ楽しさ、友達や教員と共に過ごす楽しさ、自分の考えたことを実行する楽しさなど、様々な場面で児童が楽しさを味わい、充実した学校生活を送れるようにしていく。

また、児童の悩みごとについての設問は、保護者アンケートの4-10「学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている」でもある。肯定的評価は83.9%だが、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が10.5%という結果である。児童からの相談を待つのではなく、児童の様子の小さな変化に気付いたときは教員から声をかけ、児童に寄り添いながら悩みごとの解決に向けて支援していく。学級担任だけではなく状況に応じて全教員で対応し、必要であればスクールカウンセラーとの連携も図っていく。

3 今後の改善方策

○公共交通機関の利用について

現在行っている対策は継続し、児童の意識を高めるために新しい取り組みを進める。

- ・学期の始めに生活指導主任が乗車の仕方について話をする。
- ・学校と PTA 安全対策部が連携し、同時に多くの学年が下校する日は、教員や保護者が駅やバス停で乗車指導をする。
- ・地域別児童会では、「登校のきまり」や「バス乗車について」を用いて指導し、行動の振り返りを行う。
- ・(新) 毎週の講話で週目標の話をする際に、公共交通機関の乗車の仕方について話をする。課題だけではなく、良い行動についても触れ、公共交通機関を利用するマナーやルールを身に付けていく。

○授業開始時のチャイムについて

児童アンケートで「学校の約束を守っていますか」の問いに、「あまり守れていない」の回答が12.6%だった。児童が守れていない約束の一つに授業の開始時刻がある。そこで、コロナ禍で生活時程を工夫したことで、チャイムの回数を減らしていたが、時間を守って授業を開始するために、授業開始のチャイムをコロナ禍前のように鳴らしていく。